

お元気ですか?

第13号

2023年7月発行



「芳潤のなか空中散歩」 撮影者：佐俣 雅和

CONTENTS

- 富 コロナ5類移行後、変わること 2
- 富 腎代替療法選択外来の開設 ～よりよい生活のために～ 3
- 富 健診センター リニューアルオープン! 4
- 富 シリーズ職場紹介 (業務課健康管理係) 5
- 富 紙上ナイトスクール☆シ フレイル予防 6
- 富 研修医の紹介 7
- 富 ICTについて 8
- 富 薬剤師のしごと 9
- 富 シリーズ摂食・嚥下障害の治療 認定看護師としての取り組み 10
- 富 リハビリテーションの関わり 環境調整 11
- 富 富 地域医療連携だより 12

腎臓移植

腹膜透析

腎代替療法選択外来の開設

～よりよい生活のために～

保存的
腎臓療法

血液透析

泌尿器科 田中 俊之

昨今、テレビCMやネットなどで、“慢性腎臓病”というワードがよく出てくるようになりました。“慢性腎臓病”とはどのような状態か、ご存じでしょうか？

現在、推計患者数は1330万人で、成人の8人に1人が慢性腎臓病とされています。高齢になるほど、増加し、80歳以上では約半数にのぼります。慢性腎臓病の原因はさまざまですが、高血圧や糖尿病などの生活習慣病が最も多く、メタボリックシンドロームとも関係しています。初期には無症状で気づかないことが多いですが、進行するとむくみや疲れやすさ、貧血などの症状が出て、重症になると、心不全や呼吸不全などの合併症が起こります。まずは進行を緩やかにするために食事や生活習慣の改善が必要となりますが、重症になると腎代替療法（血液透析、腹膜透析、腎臓移植）を行わないと命の危険を伴います。

腎代替療法選択外来とは…？

重症になってからの腎代替療法選択は厳しいものです。「透析が必要です!」と医師から告げられたショック、早急に判断しなければならぬ焦りがあり、生命のやりとりの中での冷静な判断を迫られます。多くの場合、とても受容できるものではありません。

そこで、腎代替療法選択外来では、重症になる前にじっくりと時間をとって、それぞれ異なる生活背景や価値観、生きがいをお持ちの患者さんの視点に立ち、腎臓の動きを補うために、また、症状を緩和するために、どのような方法があるか（血液透析、腹膜透析、腎臓移植、保存的腎臓療法）を詳しく説明し、どの方法が最も適しているかを患者さん・ご家族と医師・看護師等で一緒に考えます。疑問点は遠慮なく尋ねていただき、十分な情報を得た上で、これからの人生をイキイキと過ごしていただくためのプランを考えるきっかけとなります。

すべての腎代替療法に対応しています!

当院は腎臓移植、腹膜透析、血液透析、保存的腎臓療法のいずれの選択肢にも十分対応可能な県内でも数少ない病院の1つです。やる気に満ちた医師・スタッフがきめ細かく対応いたしますので、ご安心ください。

予約方法

腎代替療法選択外来は毎週火曜日の午後2時と3時からの1時間ずつの枠を準備しています。

他院からの紹介予約、電話予約いずれも対応していますので、ご連絡ください。

受診時にはご家族との来院をお願いします。

「コロナ5類移行後、変わるNIJW

感染制御センター長 石塚 隆雄

感染症法では、感染症を感染力と感染したときの重症度に応じて1〜5類に分類して対策をたっています。

新型コロナウイルス感染症は、これまで2類でしたが、令和5年5月8日から5類となりました。これにより、法律に基づいて行政が指導していく体制から、個人が自主的に感染対策を行っていく体制に変更となりました。

個人で対応を考えるのは難しいと思います。が、学校保健安全法が参考になると思います。学校保健安全法を当てはめると、発症後3日間は感染性のウイルス排出量が非常に多く、5日間経過後は大きく減少することから、発症後5日を経過し、かつ、症状軽快から24時間経過するまでの間は外出を控えるとともに、その後も10日間が経過するまでは、マスク着用やハイリスク者との接触は控えることよと思ひます。濃厚接触者という枠組みもなくなります。

学校保健安全法では家族が発症した場合でも児童は出席停止の対象にはなりません。しかし、家族から感染している場合、7日目までは発症する可能性があるため、新型コロナウイルスにかかった家族の発症日を0日として、特に5日間は体調に注意しましょう。また、手洗い等の手指衛生や換気等の基本的感染対策のほか、マスクの着用や高齢者等ハイリスク者との接触を控えましょう。

検査や治療に関しても今まで公費負担でしたが、これからは健康保険を使った通常の支払いになります。風邪気味の時などは個人の判断で療養したり、人と会わないようにするだけでよいと思いますが、COVID-19は感染力が強いため、重症化リスクが高い人は必要に応じて検査を受けましょう。経口の抗ウイルス剤は重症化リスクが高い患者が適応になりますが、9月までは無料にすることが決まっています。ワクチンも令和5年度は無料で接種できますので利用しましょう。

新型インフルエンザ等感染症（2類相当）と5類感染症の主な違い

	新型インフルエンザ等感染症	5類感染症
発生動向	<ul style="list-style-type: none"> 法律に基づく届出等から、患者数や死者数の総数を毎日把握・公表 医療提供の状況は自治体報告で把握 	<ul style="list-style-type: none"> 定点医療機関からの報告に基づき、毎週月曜日から日曜日までの患者数を公表 様々な手法を組み合わせた重層的なサーベイランス（抗体保有率調査、下水サーベイランス研究等）
医療体制	<ul style="list-style-type: none"> 入院措置等、行政の強い関与 限られた医療機関による特別な対応 	<ul style="list-style-type: none"> 幅広い医療機関による自律的な通常の対応 新たな医療機関に参画を促す
患者対応	<ul style="list-style-type: none"> 法律に基づく行政による患者の入院措置・動向や外出自粛（自宅待機）要請 入院・外来医療費の自己負担分を公費支援 	<ul style="list-style-type: none"> 政府として一律に外出自粛要請はせず 医療費の1割〜3割を自己負担 入院医療費や治療費の費用を期間を区切り軽減
感染対策	<ul style="list-style-type: none"> 法律に基づき行政が様々な要請・関与をしていく仕組み 基本的対処方針や業種別ガイドラインによる感染対策 	<ul style="list-style-type: none"> 国民の皆様の主体的な選択を尊重し、個人や事業者の判断に委ねる 基本的対処方針等は廃止。行政は個人や事業者の判断に資する情報提供を実施
ワクチン	<ul style="list-style-type: none"> 予防接種法に基づき、特例臨時接種として自己負担なく接種 	<ul style="list-style-type: none"> 令和5年度においても、引き続き、自己負担なく接種 ○高齢者など重症化リスクが高い方等：年2回（5月～、9月～） ○5歳以上のすべての方：年1回（9月～）

出典：厚生労働省ホームページ (https://www.mhlw.go.jp/stf/corona5rui.html)

これからも基本的感染対策としてマスクの着用、手洗い等の手指衛生、換気、人と人との距離の確保を上手に使いながら感染症の予防をしていきましょう。

シリーズ職場紹介
**業務課
健康管理係**



こんにちは、業務課健康管理係の紹介をさせていただきます。
健康管理係は健診センターの中にあり、健診医師を始め、看護師、検査技師、放射線技師及び各診療科医師のサポートを受け、事務員10名で健診センターの事務業務を行っています。
主な業務内容は、午前中は受付・保険証及び必要書類等の確認・各種問診票入力・検査への案内・会計等の健診当日の対応を行い、午後は予約受

付・事前説明及び資料送付・診断結果データ入力・結果票の作成・問い合わせ対応・前日準備等を行っています。
健診センターは、病気の予防や早期発見のための検査をおこない健康状態をチェックする施設で、当センターも人間ドックや生活習慣病予防健診、定期健康診断などのコース的なものから、市町村が実施しているがん検診やPET健診、その他の簡易的な検査も行っています。



近年、疾患の早期発見・早期治療及び予防医療等が注目されています。また、個人においても健康意識が高まっております。当センターにおいても受診者数が増加し予約が取りづらくなっています。
受診をご希望の方は、早めのご予約をお勧めしています。
今後も受診者の皆様にとって利用しやすい健診センターを目指してまいります。

健診センター リニューアルオープン！

内装やレイアウトを一新し、利用する皆さんが快適に過ごせるよう**アメニティの強化**を行いました。



★リニューアルポイント★

- ① 健診着への更衣を座って行えるように、**更衣室を拡張**し椅子を設置しました。
- ② 男女共に**トイレの数(便器)**を増設しました。
- ③ 新型コロナウイルス等の感染症対策を鑑み、**待合スペースの拡張及び換気の強化**をしました。
- ④ 胃カメラ希望者数の増加に伴い、内視鏡検査室を拡充し**予約枠を増加**しました。



自身の健康状態を確認し、生活習慣病の予防や表面化していない病気をみつけるためにも年に一度の人間ドックをお勧めしています。この機会に、是非当健診センターをご利用ください。

新コース 日帰りドック プラス(1日) のご案内



日帰りドックのコースに、胃カメラ・肺CT・骨密度・甲状腺エコーが追加され、その他に血液(腫瘍マーカー)や尿の検査が含まれた、**大変お得なコース**となっています。
※プラス受診者用のテレビが設置された準個室の待合スペースにて昼食や休息を取れます。



Your efforts will be rewarded!

Nao Akiba

研修医1年目の秋葉奈緒です。さいたま市出身で群馬大学を卒業し、群馬で働きたいという思いから当院での研修を希望しました。趣味はスポーツ観戦です。周囲の方々に支えられつつ、勉強になる日々を過ごさせていただいています。至らない点もまだまだ多いですが、2年で少しでも成長できるよう頑張りますので、今後ともよろしくお願い致します。



Ayaka Oyake

こんにちは。研修医1年目の小宅彩花です。山形大学出身で、バドミントン部に所属していました。無趣味でしたが、この5月にゴルフを始めました。早くも挫折しそうですが気長に頑張ります。入職して2ヶ月ほどではありますが、指導医の先生方をはじめ、医療スタッフの方々に支えて頂きながら有意義な研修生活を送れています。まだまだ未熟ではありますが、どうぞよろしくお願い致します。



Rina Okubo

研修医2年目の大久保里奈です。昨年は、指導医の先生方をはじめ、看護師さん、事務さんなど院内のたくさんの方々に助けをいただき、学びの多い1年間を送ることができました。初期研修も振り返りを過ぎましたが、学ばせて頂いたことを患者さんに還元できるよう、残りの期間も精進して参ります。引き続き、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。



研修医の紹介

Mikito Marusawa

初めまして。研修医1年目の丸澤幹仁です。今年度より富岡総合病院で研修させていただいております。出身は群馬県甘楽町です。高校は富岡高校で、大学は群馬大学を卒業しました。大学時代は軟式テニスに打ち込んでいました。趣味はテニスと映画観賞とゲームです。上級医の先生方や看護師さん医療スタッフの方々、患者さんに支えていただきながら、研修医として日々勉強させていただいております。まだまだ、至らぬ点が多くありますが、富岡地域の力となれるよう頑張ります。ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。



Takayuki Saito

お元気ですか。研修医1年目の斉藤孝幸です。今年度より富岡総合病院で研修させていただいております。出身は安中です。高校は高崎高校で、大学は一度、薬学部を出てから浜松医科大学に編入しました。大変遠回りしましたが、医師になれて本当に嬉しく思っております。ダブルライセンスを活かしつつ、地元富岡地域の医療に貢献していきたいと思っております。趣味は株式取引です。やっている方がおられましたら、仲良くしていただけると幸いです。



Yashimi Neoi

研修医2年生の根生義巳です。出身大学は東北大学で部活は登山部と剣道部に所属していました。趣味は日本各地のダムを巡ることです。何を隠そう、私はここ富岡総合病院で産まれました。幼少期は小児科を頻りに受診していたこともあり、非常になじみ深い病院でもあります。この度2年目となり、引き続き富岡総合病院の研修医として富岡医療圏の人々の健康のために尽力する所存です。今後ともよろしくお願い致します。

Masato Minowa

研修医2年目の箕輪真人です。昨年に引き続きお世話になっております。月日が過ぎるのは早いもので、気づけば初期研修も2年目に入りました。1年前半泣きで下手な点滴を取ろうとしていたのが昨日のことに思い出されます。研修も後半に入り、今年度はより具体的な目的意識を持って臨みたいと考えております。まだまだご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、引き続きご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

Go for your goal!

Naoki Kumagai

こんにちは。研修医1年目の熊谷です。今年度より公立富岡総合病院で研修させていただいております。出身は福島県で、趣味はゴルフです。富岡地域は打ちっぱなしも多く、たいへん楽しく生活しています。入職して2か月ほどたちますが、まだまだ至らぬ点も多く、反省点の多い毎日です。職員の方々にはご迷惑をおかけしてばかりですが、富岡・甘楽地域の医療に貢献できるよう精進して参りますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。



Hiroshi Ishii

こんにちは。1年目の石井大海です。甘楽町出身で、高崎高校、獨協医科大学を卒業しました。自分はこちらの病院で生まれ、幼少期には幾度となくお世話になりました。上級医の先生方や看護師さんなど、たくさんの方々に支えられて、毎日学びの多い充実した研修生活を送っています。まだまだ至らぬ点も多いですが、富岡・甘楽地域の医療に貢献できる医師になれるよう精進して参ります。今後ともどうぞよろしくお願い致します。



Syugo Narashima

研修医2年目の原嶋修吾です。昨年に引き続き公立富岡総合病院で研修させていただきます。昨年の4月から多くの方々に支えていただき、あっという間の1年が過ぎました。右も左もわからなかった自分ですが、皆様からのご指導のもとで多くのことを学び成長することができました。今年度の研修でも様々なことを吸収し、地域医療に貢献できるように頑張ります。至らぬ点もあるとは思いますが、どうぞよろしくお願い致します。



紙上ナイトスクール

新型コロナウイルス感染拡大の影響によりナイトスクールの休止していますが、予定していた講義内容の一部をお届けします。

自分らしく歩んでいくためのフレイル予防と運動と社会参加の視点から

リハビリテーション技術科 岩井 優香

新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが5類に変更となり、生活様式も少しずつ変化してきていることかと思えます。それでも、以前に比べると他者との関わりや、外出の機会がまだ少ない方もいるのではないのでしょうか。

みなさんは、「力が弱くなった(握力など)」「活動量が減った」「歩く速度が遅くなった」「疲れやすい」「体重が減ってきた」と感じることはありませんか。これらは、年齢を重ねると誰もが感じるのですが、

心と体の動きが弱くなってきた状態のことで「フレイル」と言われています。

「フレイル」は早めの対策で予防や改善ができ、健康寿命を延ばすと言われています。

予防のポイントとしては、「人とつながる」、「体を動かす」、「いろいろ食べる」であり、楽しむことを大切にできることを続けていくことが重要です。今回は、「運動」と「社会参加」に着目してみたいと思います。

① 運動のポイント

今より10分多く、できる範囲で元気に動こう。運動は、筋力向上のほか、食欲や心の健康にも良い影響があります。「座りっぱなしの時間を減らす」を合言葉に、座ったままでの体操をしたり、近所の用事は歩いて行ったり、なるべく階段を使ってみましょう。日常生活で続けられるものを、無理なく安全に行うことが大切です。

② 社会参加のポイント

地域に出て人とつながり、生きがいや楽しみ、目標などを持ち続けることがフレイル予防には大切です。趣味の集まりやボランティア活動、スポーツ、友人とのおしゃべり、仕事など、外と関わる機会をたくさん持ちましょう。家庭の中で役割を持つて暮らすことも社会参加の一つです。

座ったままでできる筋トレ

手の前方伸ばし

①両手をできるだけ前に伸ばす。
②骨盤から上半身を前に倒し、両手で床に貼ってから姿勢を戻す。

もも上げ膝伸ばし

①片足の太ももを上上げる。
②膝を真っ直ぐに伸ばし、太ももに力を入れる。再度①の太もも上げをしてから足を床に戻す。反対も同様に繰り返す。

体幹に効く筋トレ

骨盤抵抗左右移動

①骨盤を左右いずれか一方に移動させ、片足に体重をかけた姿勢から反対側の骨盤に手を置く。
②手を抵抗に使う骨盤を移動させる。反対側も同様に。

お口まわりの筋トレ

バタカラ体操

パター・カラを8回ずつ発音する。(1日2セット)
①「バ」は舌をはくように。
②「タ」は舌尖を上唇の裏につけるように。
③「カ」は舌の奥を上唇の裏につけるように。
④「ラ」は舌を丸めるように。

※ご自身の体調に合わせて無理なく行ってください。

外出しよう

買い物、通院、散歩に出かける

友人・知人と交流しよう

友人や知人と会うための連絡をする

やりがいのある活動に参加しよう

地域の活動を探してみる
家庭での役割分担をする

引用：福島県「フレイル予防ハンドブック」



仕事紹介
Job introduction

病院のバックステージを紹介

薬剤師のしごと



薬剤部 神宮 翼

七日市病院薬剤部は常勤薬剤師3名、パート薬剤師1名、事務職員1名より構成されています。今回は私達の仕事のひとつ、病棟業務について紹介します。病棟業務とは入院患者さんの薬を管理する仕事です。薬剤師は入院患者さんごとのように携わっているのでしょうか。

まず入院すると使用している薬を調べて医師へ報告します。次に医師から指示された薬を看護師が患者さんへ配りやすい状態へ用意します。持ち込んだ薬が終了する際は医師へ処方提案し、処方せんに基づいて薬を作り用意します。薬の量や飲み方に問題が無いかをチェックし、副作用マネジメントも行います。入院中に薬の変更や新たな薬が開始になるときは、効果や飲み方、副作用等を説明しています。また注射薬を使用していれば、量や濃度、速度、他剤との混ぜ合わせに問題がないか調べま



す。退院時には入院中使った薬をお薬手帳に反映させ、次の医療機関へ情報提供しています。

私達はこのように患者さんの入院から退院まで薬を管理しています。薬剤師の介入により薬をより安全に使用できるよう取り組んでいます。また入院中だけでなく退院後も薬を適正に使用できるように他の医療機関・調剤薬局とも連携しています。



七日市病院CTメンバー (一部)

ICTとはInfection (感染) Control (制御) Team (チーム)の略で患者・家族・職員など病院内のすべての人を感染から守るために活動しています。

ICTは医師・看護師・薬剤師・臨床検査技師・理学療法士等様々な職種からなり、それぞれの専門性を発揮しチームとして院内の感染制御に取り組んでいます。

主な業務は週一回の院内感染防止対策の実践状況の把握や指導を目的とした院内巡視。病院に関わるすべての職員の知識向上を目的とした感染に関する研修会の実施。薬剤耐性菌増加を防止する院内抗菌薬の適正使用の監視をおこなっております。

猛威を振るった新型コロナウイルス対応は職員の日常生活の自粛を要請し、公立富岡総合病院ICTならびに職員一丸と



院内巡視の様子 厳しい目が光ります

なつて院内感染防止のため患者さんや職員の対応指導をおこなっていました。

また公立富岡総合病院ICTが中心となり富岡甘楽地域の近隣医療機関が参加する感染制御に関する研修会、再びきたる新たな感染症(新興感染症)に対応する為、当院入院患者から陽性患者の発生を想定した実地訓練を公立富岡総合病院、公立七日市病院、富岡消防署、富岡保



関係機関と連携した新興感染症実地訓練で有事に備えています

健所が協同して実施しました。このように各病院にあるICTは自施設のみならず地域医療機関が連携することにより感染制御のため情報共有もおこなっております。

ICTに携わるようになって院内を巡視、監視することにより院内に潜む犯人(病原体)を探し犯罪(院内感染)を予防するICTは病院内におけるお巡りさんの様に感じます。

病院のお巡りさん? ICTについて

技術部検査科 副技師長 須藤 健治



リハビリテーションの関わり おうちに帰る準備 - 環境調整 -

回復期リハビリテーション係 係長 高橋茂

当院には回復期リハビリテーション病棟があり、在宅復帰を目標に多くの方がリハビリテーションに取り組んでおられます。リハビリテーションの目的は、患者さんが住み慣れた地域でその人らしく過ごせるように支援することで、日々お手伝いをさせていただいております。ただ、障害の程度によっては後遺症が残ってしまうことがあります。そのような場合でも、安心して生活できるように、当院のリハビリテーションスタッフが自宅へ訪問して環境の確認や生活上で必要と思われる改修などの環境調整を提案させていただいております。

具体的には、家屋内の移動手段やトイレでの動作のし易さ、浴室での浴槽の出入り、玄関からの出入りなどです。それらに対して手すりや踏み台の設置などの提案をしています。屋内の環境ばかりではなく、家屋周辺の環境についても考慮する必要があります。

家の中に籠りきりになると生活範囲が狭くなり、長い目で見たときに身体能力を低下させてしまう一因にもなりうるからです。

そうした物的な環境支援のほかにも、患者さんの身体能力を把握し、患者さんやご家族の思いなどを伺った上で必要な介護保険を利用した通所介護や訪問介護などの人的な環境支援についても提案させていただくことがあります。

このような活動を通して、患者さんが退院後もできる限り機能や能力を維持して在宅で生活することができるように支援させていただいております。今後も紙面を通して、家屋調査にて提案する住宅改修についてお伝えしていくことができればと思います。



シリーズ 摂食・嚥下障害 の治療

摂食・嚥下障害看護認定看護師 摂食嚥下支援チームで認定看護師としての取り組み

看護師 亀井恵子

みなさん、お元気ですか？七
日市病院看護師の亀井恵子です。
今回は、七日市病院の摂食嚥
下支援チームを紹介させていた
だきます。

摂食嚥下支援チームは
2022年度に設立し活動を開
始しました。チームメンバーは、
嚥下担当医師、言語聴覚士、管
理栄養士、摂食嚥下障害看護
認定看護師で構成されています。
入院されている患者さんの中で、
対象となる患者さんをケアする
スタッフが多方面から援助や働
き掛けやすいよう、チームメン
バーが支援しています。

インフアレンスを行います。入院
中の訓練から、自宅での食事の
注意点等を患者さんとご家族へ
お伝えし、自宅退院までつなげ
ていく事ができます。訓練に関
しては言語聴覚士、食事の内容、
栄養は管理栄養士など専門的
な知識を持ち寄り、話し合いを
行っています。

内視鏡下嚥下機能検査は、細
いファイバーカメラ（胃カメラ
より細いです）を鼻の穴から喉
まで入れ、実際に食事が喉を通
る様子を見ることが出来ます。
喉に残りやすい食べ物や姿勢、
むせやすいものがなにかを実際
に観察でき、今後の食事の際に
注意する点が分かります。
私も実際に検査を体験してみ
ました。身の置き所のない苦労
を伴うのではないかと最初は警
戒しましたが、全く痛みや違和

感なく検査を受ける事ができま
した。検査中に管が入っている
ことを忘れ、ついついしゃべり
過ぎてしまったくらいです。
実際に、管からしか食事をと
ることができなかった患者さん
が、検査と訓練を繰り返して、退
院後は家族と同じ食事を口から
召し上がることができていると
いう嬉しい報告もありました。

まだまだ、活動は開始したば
かりのチームですが、摂食嚥下
支援チームは、一人でも多くの
方に口から食べる楽しみを継続
して頂けるようメンバー一丸と
なりサポートしたいと思ってお
ります。
摂食嚥下支援チームは
その一口をあきらめません！

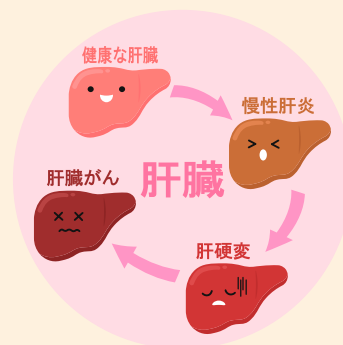


富岡総合病院は肝炎撲滅プロジェクトに取り組んでいます

肝臓は沈黙の臓器と言われ、肝炎ウイルスに感染していても、熱や痛みなどの症状はほとんどありません。

知らない間に肝硬変や肝がんに行進することもあります。

令和4年3月に肝炎対策基本法が一部改正され、当院では検査結果の説明と受診につなげる取り組みを実施しております。



◎過去に当院で検査を受け、二次検査が必要と思われる方には連絡をさせていただきます。

◎肝炎と疑われたが、治療しておらず当院で精査の希望がある方は受診予約をお取りいたします。



- ★肝炎とは何か
 - ★どのように感染するのか
 - ★どのような予防や治療方法があるのか
 - ★受診をしたいがどうすればよいか
- …など、肝炎について相談を受け付けています。

お問い合わせ

公立富岡総合病院 地域医療連携室

TEL. 0274-63-2111 (代表)

発行

富岡地域医療企業団 公立富岡総合病院

〒370-2393 群馬県富岡市富岡2073-1

TEL.0274-63-2111

FAX.0274-64-1406

<http://www.tomioka-hosp.jp>

tomihp@mail.gunma.med.or.jp



富岡地域医療企業団 公立七日市病院

〒370-2343 群馬県富岡市七日市643

TEL.0274-62-5100

FAX.0274-62-5211

<http://www.nano-hosp.jp/>

nanobyin@nano-hosp.jp

